

8

2013 AUGUST NUMBER_103

緑いきづく火の神の里

広
報

あそ



古式ゆかしく、神々しく。

青田に映える白装束の宇奈利

国指定重要無形民俗文化財 阿蘇の農耕祭事「御田祭」



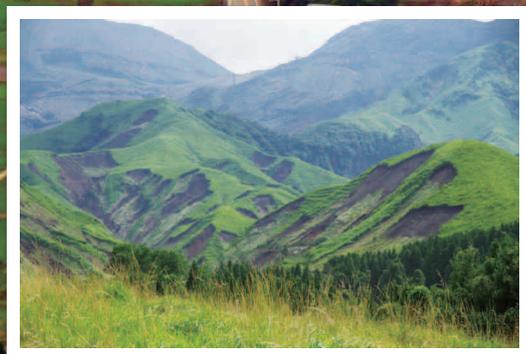
さいがい きおく
災害の記憶

Memory of a disaster

阿蘇市に未曾有の被害をもたらした九州北部豪雨から1年が経ちました。

阿蘇外輪山を見渡すと、災害の爪痕は生々しく、見るたびに災害の記憶が蘇ります。

今月号は、7月12日に行われた九州北部豪雨災害犠牲者阿蘇市合同追悼式と、災害からの復旧復興に力を注ぐ3人にスポットを当てました。



災害から1年、犠牲者の鎮魂祈る。

- 九州北部豪雨災害犠牲者阿蘇市合同追悼式 -

昨年7月の九州北部豪
雨災害からちょうど

1年となる7月12日、一の宮中体育館で犠牲者を弔う阿蘇市合同追悼式が営まれ、遺族など約420人が参列し、災害犠牲者に哀悼の意を捧げました。

式典では、冒頭に犠牲者へ黙とうが捧げられた後、佐藤阿蘇市長が「これから復興に向かう中、克服すべ

き課題や困難に正面から向き合い乗り越えなければならぬ現実が待っている。

しかし、亡くなられた方々のふるさとを思う心を胸に刻み、安全安心に暮らせる阿蘇市を目指し市民一丸となつて突き進んでいくことを誓います」と追悼の言葉を述べました。

また、遺族を代表して父親を亡くした白石勲さんが

災害時を振り返り「じいちゃんや長年築いてきたお店を閉めてなるものかと決心して、孫たちも手伝いお店を再開することができました。安心してください。私たちは頑張ります」と語りました。

終わりに、参列者全員が献花をし、災害犠牲者の冥福を祈りました。



参列者による献花の様子



遺族を代表し、言葉を述べる白石さん

■阿蘇市の被害状況

死者	21人	(熊本県 23人)
行方不明	1人	(熊本県 2人)
全壊	60棟	(熊本県 169棟)
半壊	1,121棟	(熊本県 1,293棟)
床上浸水	38棟	(熊本県 544棟)
罹災世帯数	1,219世帯	



Interview

いちハラ ケイキチ

市原 啓吉 さん

Ichihara Keikichi

阿蘇草原再生協議会 委員
農業

63歳、行政区：福岡



この**災害**で 与えられた自分の**使命**。

今回の災害で、6名の尊い命が失われた一の宮町坂梨の福岡地区。大規模な土砂災害は人家を一瞬にして奪い、あたりは土砂と流木で埋め尽くされ、今も災害時の面影が残る！。

目の前に迫る土石流

福岡地区で農業を営む市原啓吉さん。12日の明け方、激しい豪雨で外の様子が心配になり、父大吉さんとともに納屋に停めていた車両を動かそうと外に出た。その瞬間、「ドドドド…」という轟音とともに流木が押し寄せてきた。目の前まで土砂が流れ込み、大吉さんに「早く家の中に！」と叫び、自身も納屋のハシゴを駆け上がった。「少しでも遅れていたら命が無かった」。大吉さんは家の中になんとかたどり着き、腰の高さまで土砂がきたものの、流されずに命は助かった。「家に入れなかったらそのまま流されていたかの」。当時、住んでいたほかの



災害直後の納屋のようす。大量の土砂が襲った。

家族3人は2階に避難して無事だった。畜産を営む市原さんは当時、納屋に3頭、近くの牛舎に4頭の牛を飼育しており、そのうちの1頭は土砂もろとも流されてしまった。自分の子どものように可愛がっていた牛が流されていくのを、ただ見つめることしかできなかったという。

〓生かされた〓 自分に
できること

幸い助かった市原さんは「自分は〓生かされた〓」という気持ちが残る。「〓生かされた〓」ことで、自分にできることは何かを考えた」。

地元を知る者として、草地や山林の災害現場立ち会いや調査などに積極的に出向き、早期の復旧に尽力。「できるだけ早く復旧工事が進められるように」と10月頃までは本業のかたわら、地元坂梨の安全のために駆け回った。



昨年は約半分が被害に遭ったトウモロコシ畑。出荷作業に熱が入る。

一方で、被災した自宅などの片づけは手つかずの状態だったが、たくさんのボランティアや仕事の関係者などが駆けつけてくれたことに「みんなの支えに感謝の気持ちでいっぱい」と話す。

1階部分に大量の土砂が流入した自宅。家族はリフォームをして住み慣れた家での生活再建を望んだが、市原さんは「また同じ災害に遭ったら立ち直れない」と堰堤などができて安全が確保されるまで、仮設住宅での生活を選び家族を説得した。

仮設住宅での暮らしについて「私たち夫婦はなんとか慣れたが、両親は環境の変化に慣れず体調を悪くすることが多い」と親の健康を気遣う。仮設住宅に住める期間は2年と限られており、市原さんは「災害で地域の人を外に出て行ってしまうのは寂しい」と年度内には家に戻りたいと話す。

子どもたちに考えてもら
いたい、ふるさと阿蘇

災害から得た教訓を聞くと「避難勧告などを、よく注意していなかった」と振り返る。屋内に設置している防災行政無線も居間とは別の場所に付けていたため、聞き取れなかったようだが、「あの時ばかりは、聞かえていたとしても道が川のようになり避難できなかった。これからはなるべく早く避難するようになんか心がけたい」と災害に対する意識は変わった。

阿蘇草原再生協議会委員として、子どもたちなどを対象に講演をしている市原さん。先人たちが培った阿蘇の草原のことをしっかり学んでもらおうと積極的に活動している。その中で災害についても「自分たちが経験した災害を教訓に、災害時にどう避難するか、どのように人々と協力して助け合っていくかを

「子どものように可愛い」と仔牛に餌を与える市原さん



考えてほしい。ボランティア精神や道徳意識の高い日本人の心を大事にして」と子どもたちに訴える。

「生まれ育ったふるさと『阿蘇』の素晴らしさを知ってほしい」

災害を経験し、阿蘇の自然の猛威を知ってもなお、ふるさと阿蘇を愛する市原さんの言葉が熱く胸に刺さる。



復興への願いを込めたバルーンリリース。約3000個の風船が阿蘇の夜空に上がった。(阿蘇体育館にて)

るさと。 さんを**元気**に。

観測史上最大の大雨は、黒川など河川の氾濫を招いた。内牧地区を中心に浸水被害が相次ぎ、阿蘇市の観光業にも大きな影を落とした。阿蘇温泉観光旅館組合に加盟する半数以上の旅館・ホテルは休業を余儀なくされた――

22の旅館・ホテルが加盟する阿蘇温泉観光旅館協同組合理事長の稲吉淳一さん。災害当時、仕事で東京に行っており自身で経営するホテルの従業員から一報を受けた。ホテル内には泥を

含んだ水が流れ込み、成人男性の胸の高さほどまで浸水。ロビーのじゅうたんは全て剥がれ、自動販売機や調度品は流され「初めは何がなんだかわからない状態」と振り返る。

前日から250人以上の宿泊者があり、避難誘導や食糧、飲料水の確保に追われたが、宿泊者から「心配しなくていい」と声をかけられ、その言葉で落ち着いて対応することができたという。

ボランティアの人たちには頭が下がる思い

22軒のうち15軒の旅館・ホテルが床上浸水などの被害に遭い休業が続いた。稲吉さんの経営するホテルも約4カ月にわたり休業。災害直後には多くのボランティアが訪れ各所で作業にあたった。「名も知らない方々が『手伝わせてください』と言って来てくれた。一生懸命作業をしてくださり本当に感謝の気持ち



ホテル内に駐車された車は、水で押し流された。

「あんなに話さない」と話す。ことし4月25日に内牧地区で休業していた最後の旅館が営業を再開し、内牧地区の全ての旅館・ホテルが再開した。

5月には、阿蘇市の旅館・ホテルの料理人をつくる『阿蘇料理維新の会』の朝ごはんが好評の阿蘇マルシェが再開し、毎月、県内外から多くの観光客が訪れ賑わいを見せている。「料理人が表に出てお客さまと接するということに意味がある。マルシェでは、その他の業種との相乗効果も期待できるし、再開できて良かった」と話す。

Interview

いなよし じゅんいち

稲吉 淳一 さん

Inayoshi Junichi

阿蘇温泉観光旅館協同組合 理事長
阿蘇プラザホテル 代表取締役社長
44歳、行政区：内牧2区



内牧温泉は心のふ おもてなしでお客様

復興への
感謝の気持ちを込めて

災害から1年という節目に旅館組合が実施しているのが阿蘇復興感謝キャンペーン。「この一年を振り返り旅館業は自分たちだけでは成り立たないということが改めて分かった。支援をいただいた地元の方やボランティア、宿泊者に何かできることはないか」とキャンペーンを展開。宿泊者向けに配る『阿蘇元気米』は、受け取った誰もが喜んでくれるという。

ちょうど一年にあたる7月12日には、復興への想いや感謝の気持ちを記した風船を飛ばすバルーンリリースを開催。会場の阿蘇体育館には3000人を超える人たちが参加し、それぞれ思いを風船に込めた。『花火よりも

きれい』という声もあり素晴らしいイベントになった」と振り返る。

これから目指す
内牧温泉のカタチ

「阿蘇の旅館ができることは、都会などからの疲れた人を癒して、元気になって帰ってもらいたい。そういう意味で、元気を循環する『元気循環型』の温泉地を目指したい」と稲吉さん。「旅館組合としてますます一致団結して明日に向かって頑張っていきたい」と意気込む。

最後に、稲吉さんにとって内牧温泉とは？と尋ねるとこう答えて返ってきた。「これだけの素晴らしい風景があり、四季折々の季節感を感じさせるところは他にはない。内牧温泉は僕の元気の源です！」
災害を経験し、多くの人たちに支えられた内牧温泉は力強く新たなスタートを切った。

未来のために 何ができるか。

Interview

まえはら とむ

前原 土武 さん

Maehara Tom

災害 NGO 結~ゆい~

災害復旧・復興支援
コーディネーター代表
35歳、出身地：沖縄県



「地域が地域のために復旧復興
することが、本来の地域の力」

そう語るのは、災害復旧・復興支援コーディネーターとして活動する前原土武さん。東日本大震災でのボランティア活動をきっかけに、たった一人で立ち上げたのが「災害NGO結」。それまでラフティンングガイドとして国内外で働いていた前原さんは、アウトドアでの危険な場面に幾度となく遭遇し、仕事柄、水の恐ろしさを熟知しており、東日本大震災での逃げ惑う人たちの映像をテレビ越しに見て「いてもたってもいられなかった」と、仕事を休職して災害現場に入ったと話す。

災害時は現場を知ることから始まる

昨年7月12日の九州北部豪雨時に宮城県で活動をしていた前原さんは、九州北部の各地で大雨による災害が起きていること

を聞きつけ、その日のうちに車を走らせ翌13日に熊本県に入った。「熊本県の地図を広げると、川の始まりが阿蘇ということを知り、ものすごいことになっていくかもしれない」と直感し、すぐに阿蘇に向かったという。

阿蘇に入ってから「現場を知ることが先決」とすぐに阿蘇市内を駆け回り状況把握に努めたという前原さん。「多くの災害ボランティアセンターは、運営することに手いっぱい現場が把握できていないことが多い」と問題点を指摘する。阿蘇市での活動でも、支援を必要とする派遣先での役割や現場の状況などを常に把握し、社協のスタッフと活動を続けたと振り返る。

**阿蘇の人の優しさは
本当にありがたい**

阿蘇に入って最初に訪れた場所は一の宮町手野地区。土砂災害が多数発生し、5人が亡くな

1



1 7月15日には、『ひまわり大作戦』と題して、熊本市と西原村の中学生180人を招き、一の宮町手野と小里の畑にひまわりの苗を植えた。できた種は福島県の福祉施設に贈る。

2 学生を阿蘇市に招いて、災害時のようすを説明する前原さん（一の宮町坂梨）。

2



り市内でも被害の大きかった地区だ。平成23年9月に台風12号による大きな被害のあった和歌山県那智勝浦町で土砂災害の支援経験のある前原さんは、手野地区の被害の光景を目の前にして「これは復興までに時間がかかる」と感じたそう。だからこそ「地域の人やそれ以外の人々が長く支援する体制が必要だ」と訴える。災害ボランティアセンターが閉所してもなお活動を続けるのはその理由からだ。長く阿蘇で活動すること、市民とのコミュニケーションも

深まり、特に坂梨や古城地区で前原さんを知らない人はいないくらいだ。前原さん自身も地域の人との交流を大切にしている。「もう阿蘇に住みなっせ」と声をかけてもらえるのが嬉しいと話す。「自分のことを誰も受け入れてくれたおかげで、今もこうやって活動ができる」と阿蘇の人の優しさを感じている。

災害の記録を後世に

現在、取り組んでいるのは災害記録集の制作だ。きっかけは平成2年の7・2水害という。昨年の災害で地域の人々が口々に7・2水害のことに触れ、約20年前に災害が起きたということを知り図書館で調べようと思っただけ、ほとんど記録として残されていなかった。「災害の怖さを知らなければ、防災・減災が分からない。今回の教訓を生かすために災害の記録を残すことで防災・減災の意識に繋がって

いけば」と4月から制作を始めた。

記録誌のテーマは『伝えよう未来へ（こどもたちへ）』。「この災害で亡くなった人たちの死が無駄にならないように後世に伝えて、今後起きる災害で少しでも被害が少なくなれば」と記録集に思いを込める。この記録集は9月を目途に発行する予定だ。

「阿蘇は力強いし、大好きなところ」と、もうしばらくは阿蘇で活動を続けたいと前原さん。「防災意識の高い行政を目指してほしい。そして住民の意識も高まるのが理想」と語る。「止まない雨はない。辛いこともあるだろうけど必ずいいこともある。そのためにもボランティアが残って支援し続けたい」。

たった一人で阿蘇にきた前原さんの周りには多くの支援の輪が広がり、今後も阿蘇への支援は続く。

復旧から復興へ

波野と坂梨を結ぶトンネル整備工事に着手

・国土交通省・

昨年の災害では、大規模な土砂崩れや道路崩壊、橋梁落下、農地被害など各所で相次ぎました。

各所で復旧工事が進む中、国道57号滝室坂を代替するトンネル整備工事を国土交通省が本年度から新たな事業として着手することが決まりました。熊本と大分を結ぶ国道57号滝室坂は、災害で10力以上の斜面が崩落し、39日間にわたりに通行止めになったことなどを受け、代替道路を整備するものです。

この道路は、熊本市と大分市を結ぶ中九州横断道路（地域高規格道路）の一部として整備され、9月下旬から測量・地質調査などが

実施される予定となっています。同時に学識経験者などで組織するトンネル技術検討委員会が設置され、トンネル事業における技術的な検討が行われています。

7月にはトンネル掘削が行われる坂梨地区と笹倉地区で地元説明会が行われ、工事を行う国土交通省九州地方整備局の担当者から工事概要について説明がありました。

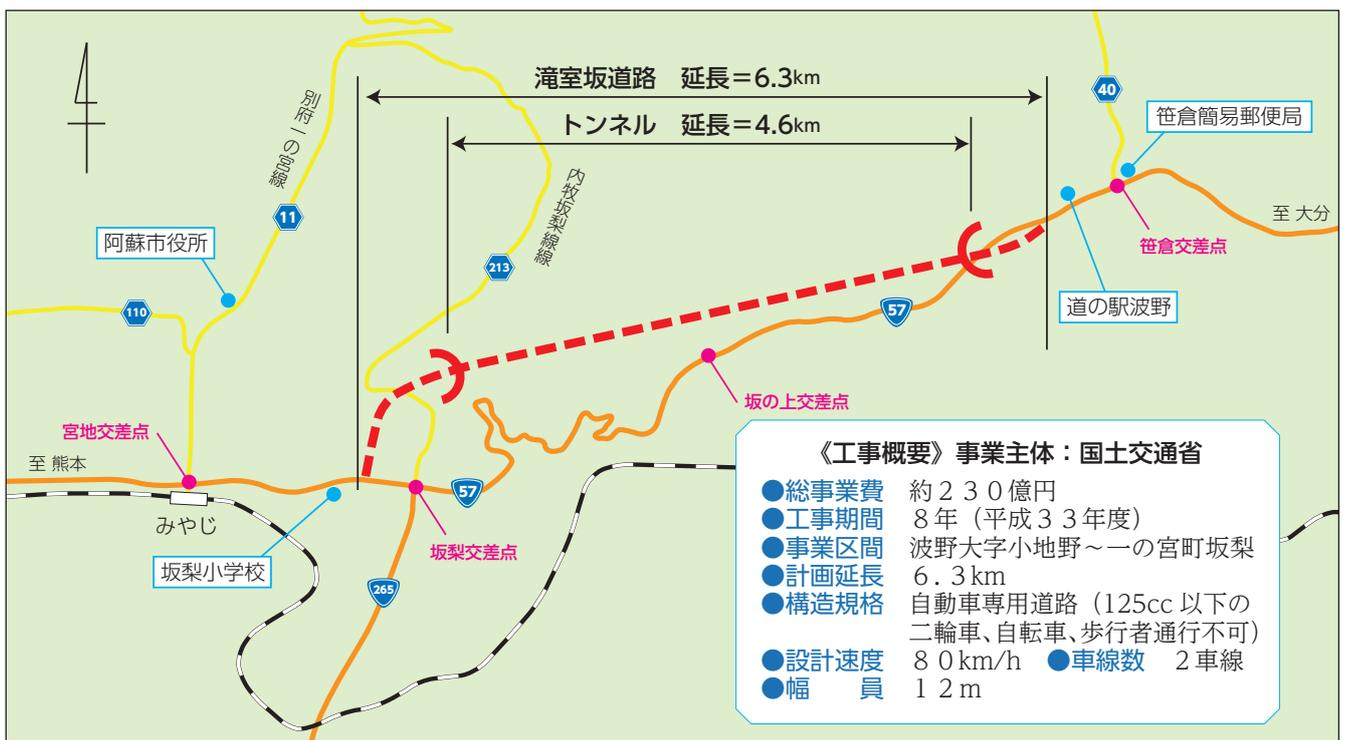
22日に笹倉集会所で行われた説明会では、トンネル化することによる地下水の影響や2車線による対面交通の危険性、国道57号の今後の維持管理などについて地元住民から質問がありました。

説明会に参加した笹倉地区の男性は、「災害後に滝室坂の危険性を危惧しており、トンネル工事の必要性を訴えてきた。トンネルの始点となる場所はどこになるのか」と観光施設がある道の駅波野「神楽苑」の集客への影響を心配していました。



笹倉地区での説明会のようす

■滝室坂道路概要図



災害の記憶を後世に。

九州北部豪雨災害の写真、映像、体験文をお寄せください

市

では、昨年の九州北部豪雨で被害に遭った地域の実状・体験を後世に伝え、またその教訓を今後の災害に強いまちづくりに活かすため、災害の記録誌・DVD（動画）を作成します。

作成にあたり、各地域の詳細な情報が必要です。広く皆さまから、災害に関する写真・映像、体験文を募集します。ご協力のほどよろしくお願ひします。

■募集内容

《写真・映像》

- ▼災害の様子
- ▼地域の人たちの様子
- ▼ボランティア活動の様子
- ▼消防団や各救助機関の活動の様子
- ▼避難所の様子など

【体験文】

- ▼災害や復旧活動、地域の連携など、災害に関するさまざまな記憶や体験

■留意事項

- ▼ご提供いただいた写真、映像、体験文は、返却いたしません。著作権は阿蘇市に帰属させていただきます。

- ▼写真、映像、体験文は、市が作成する記録誌・DVD・パンフレット・パネルなどに使わせていただきます。

- ▼ご提供いただいた写真、映像、体験文すべてが掲載されるものではありません。

- ▼写真・映像などを使用する際、撮影者の氏名は掲載しません。

■募集期間

9月3日☒まで

■応募方法

郵送、電子メール、持参のいずれかでお願ひします。写真・映像（携帯電話で撮影したのも可）のうち、デジタルのものはCDなどの電子媒体にコピーしてご提供ください。

■送り先

〒869・2695

阿蘇市一の宮町宮地504・1
阿蘇市役所総務課「災害記録収集係」宛

■問い合わせ

阿蘇市総務課
☎22・3111

メール soumu@city.aso.lg.jp

第23回 参議院議員通常選挙 阿蘇市開票結果

(平成 25 年 7 月 21 日執行)

選挙区 (熊本県)		比例代表	
基準日現在登録者数	23,556 人	基準日現在登録者数	23,556 人
選挙当日有権者数	23,439 人	選挙当日有権者数	23,439 人
投票者数	13,201 人	投票者数	13,204 人
投票率	56.32 %	投票率	56.33 %
投票総数	13,200 票	投票総数	13,202 票
有効投票数	12,714 票	有効投票数	12,589 票
無効投票数	486 票	無効投票数	613 票
持ち帰り・その他	1 票	持ち帰り・その他	2 票

比例代表 政党別得票数 (届出順)		
政党等の名称	政党等のみ	名簿登載者の得票含む
みんなの党	425 票	557 票
民主党	1,541 票	2,248 票
新党大地	28 票	58 票
社会民主党	129 票	157 票
生活の党	105 票	125 票
みどりの風	30 票	54 票
自由民主党	3,680 票	5,327 票
日本共産党	592 票	635 票
公明党	929 票	2,469 票
緑の党グリーンズジャパン	30 票	64 票
日本維新の会	722 票	843 票
幸福実現党	46 票	49 票

選挙区 候補者別得票数 (届出順)	
守田 たかし 候補	188 票
松野 信夫 候補	3,684 票
馬場 せいし 候補	7,985 票
山本 のぶひろ 候補	857 票

比例代表 候補者得票数 (得票順 上位 10 人抜粋)	
公明党 かわの 義博	1,457 票
自由民主党 山田 としお	336 票
民主党 あいはらくみこ	206 票
自由民主党 宮本 しゅうじ	191 票
自由民主党 つげ 芳文	178 票
自由民主党 えとう せいいち	165 票
自由民主党 羽生田 たかし	127 票
自由民主党 佐藤 のぶあき	126 票
自由民主党 石田 まさひろ	117 票
民主党 さだみつ 克之	74 票

※按分票になる小数点は切り捨て。

豊後街道が国の史跡に指定！



車帰の原野に残る参勤交代道

江戸時代の参勤交代道として阿蘇市を東西に横断する豊後街道が7月10日、国の史跡として指定されました。豊後街道は、特に江戸時代に阿蘇地域の交通・流通を支える街道として、その歴史的価値が非常に高い街道であることから、市と産山村が共同で国の史跡指定に向けた取り組みを進めてきました。国の史跡指定という形で豊後街道の価値が認められたことは、世界文化遺産登録を目指すうえで、非常に有意義なこととなりました。

暮らしに役立つ行政情報誌 「暮らしの便利帳」を発行します

市

は、株式会社サイ
ネットクス（村田吉
優代表取締役社長）との
官民協働事業により、市
役所での手続きや各種制
度、観光情報などを掲載
した行政情報誌「暮らし
の便利帳」を発行します。

この事業は、発行に必
要な経費を事業者の広告
で賄うもので、市が費用
を負担することなく発行
するものです。

便利帳の発行に
より、新たな情
報伝達の手段が
増えることで、
市民のニーズに
きめ細やかに対
応します。

発行は来年1
月の予定で、全
世帯に配布する
ほか阿蘇市への
転入者に配布す

ることとしています。ま

た、事業者の皆さまへの
広告募集は同社が訪問し
ます。本事業の趣旨をご
理解のうえご協力いただ
きますようお願いしま
す。詳細は左記までお問
い合わせください。

（株）サイネットクス熊本支店
☎096・362・9796



7月3日に行われた調印式の様子。握手を交わす村田吉優代表取締役社長（左）と佐藤市長。

災害時の連携を強化

熊本保健科学大学、阿蘇警察署と災害協定締結

市

は7月1日、熊本保
健科学大学（小野友
道学長）と「災害時におけ
る包括的連携に関する基本
協定」を締結しました。

災害時に身体障害者など
が避難所で過ごすことがで
きない場合に、同大学で受
け入れて支援することや、
学生などの派遣に関するこ
となどが盛り込まれてお
り、災害時には100床の



熊本保健科学大学との調印式の様子

ベッドを確保し受け入れ態
勢を整えています。

小野学長は「被災者を受
け入れることで地域に貢献
し役に立ちたい。学生に
とっても大変意義のあるこ
とで、日頃の災害を意識す
る教育につながれば」と話
していました。

また、7月5日には、阿
蘇警察署（藤山聰署長）と
「大規模災害等における施
設使用に関する協定」を締
結しました。昨年豪雨災
害時に、同署では浸水被害
に遭いパトカーなどの車両
が使用不能になりました。
そこで、警察機能の確保を
図るために、災害時に警察
署が使用不能になった場合
に、市が保有する施設を代
替施設として使用するもの
です。

いずれの協定も、災害時
の教訓を経て関係機関との
連携を強化し、今後の有事
に備えるものです。

自動販売機で草原再生募金を！

草原再生協議会が市役所に設置

阿蘇草原再生協議会（高橋佳孝会長）は7月26日、商品代金の一部が阿蘇草原再生募金に寄付される飲料自動販売機2台を市役所に設置しました。

草原の風景写真がラッピングされた自動販売機は、南九州コカ・コーラ（株）とサントリーフーズ（株）が協力し設置したもので、庁舎内と西側駐車場に1台ずつ設置。商品の購入代金の一部が募金に充てられ草原再生関連の活動資金として使用されます。草原再生募金ができる自動販売機の設置は県内では初めてです。



市役所裏玄関に設置された自動販売機

基本的人権の擁護、人権思想の普及高揚に尽力

菅光子氏に法務大臣から感謝状

左から佐藤阿蘇市長、菅さん、中川支局長、阿蘇大津人権擁護委員協議会岩瀬事務局長



法務大臣感謝状伝達式が7月5日市役所で行われ、6月末をもって人権擁護委員を退任された菅光子氏に感謝状が贈られました。

菅氏は、平成19年に人権擁護委員の委嘱を受け、2期6年間の永きにわたり、人権相談や人権啓発活動に取り組みました。また、阿蘇大津人権擁護委員協議会の子ども人権部会

で児童・生徒への人権意識の普及高揚に尽力しました。

熊本地方法務局阿蘇大津支局の中川支局長と阿蘇市長から感謝状や記念品を受け取った菅さんは「任期中、法務局や行政のお力添えで活動ができ大変感謝しています。今後も市民の立場で人権意識の普及に努めます。」とお礼を述べられました。

渡邊経済部長から辞令を受ける坂本さん

農産物を有害鳥獣から守れ！ 鳥獣被害対策実施隊を結成



動要請により捕獲・駆除活動をするもので、地方公務員法に定める非常勤の特別職となります。

全国的に有害鳥獣による被害は年々拡大しており、実施隊の設置により迅速に対応できるようになったことから、市における農林業の被害抑制につながるものと期待されます。

市では、鳥獣による農業被害を防止するため阿蘇市鳥獣被害対策実施隊を設置し7月22日、阿蘇市有害鳥獣捕獲協議会構成員のうちの希望者87人に辞令を交付しました。

実施隊は、市が被害防止計画の対象として定めるニホンジカ、イノシシ、ニホンザル、カラス類の捕獲に関し、市の出

同協議会捕獲隊長を務める坂本憲一さんは、「有害鳥獣が増えて手におえない現状の中、実施隊の設置は大変良いこと。少しでも被害が少なくなれば」と話していました。



- 1 終始笑顔でシャッターを切って撮影を楽しむ園児たち。「最初は難しかったけど慣れると簡単で楽しい」
- 2 長野氏に指導を受けながら真剣に撮影する園児たち。
- 3 撮影後、自分たちで撮影した写真を鑑賞。自分が撮った写真を見て喜んでいました。

小さな瞳が、大きな絵を撮る！

宮地保育園 心を育む「映育教室」TM

3



京都）が平成21年6月から全国的に活動を展開してきます。今回、カメラ撮影の講師に南阿蘇村の写真家、長野

子どもたちに映像を通してふるさとの素晴らしさを実感してもらおうと6月28日、市主催の「映育教室」が宮地保育園で行われました。

映育とは、幼い時から映像に親しみ感受性を豊かにし、心を育くむ取り組みのことで、今回の映育教室に協賛するジェネラル・イメージング・ジャパン株式会社（東



長野良市さんの話

子どもの目線で撮る写真には変化があり、大人が撮影する写真よりも面白いものが撮れる。2回、3回と続けることでカメラの面白さを体感してもらうことが重要。

撮った写真は良いものを選択する必要があるが、写真を選別する目を養い、日常で物事を選択していくことの重要性を考えるきっかけになれば良い。

良市氏を招き、県内で初めて園児を対象に行われました。

教室では、写真の撮り方やカメラの楽しさを説明し、年長児20人にそれぞれデジタルカメラを貸与。園内の花壇や遊具、友だちなどさまざまな被写体を思い思いに撮影しました。長野氏は「デジタル映像は身近なものになっており、カメラが教育のツールとして活用できれば」と話していました。

市では、映育を通して次世代を担う子どもたちに、自分が住むまちに誇りを持つてもらい、大人では気づかない子どもたちが発見する『新たな魅力』を見出し、地域活性化を図ろうと試験的に取り組んでいます。今後は、参加者を公募し映育教室を行う予定です。

災害復興に感謝

阿蘇マルシェであか牛の牛丼振る舞い

阿蘇市内のホテル・旅館の料理長でつくる「阿蘇料理維新の会」（漆原宏会長）の朝ごはんが好評の阿蘇マルシェは7月7日、災害からの多くの支援に感謝を込めて『復興感謝マルシェ』と題して旧乙姫小学校で開催しました。

今回は、同会が腕を振るって料理した「あか牛の牛丼」が無料で振る舞われ、県内外から多くの来場者があり体育館や教室で料理を堪能しました。会場では



は災害ボランティア団体「災害NGO結」による災害写真の展示もあり、訪れた人は真剣なまなざしで写真に見入っていました。

北九州市から来た家族連れの男性は「阿蘇は大好きなところで何度も訪れている。災害が起きたことを知り、実際に山肌が削り取られているのを目の当たりにしてビックリした」と驚いたようすで話していました。

また、この日は阿蘇温泉観光旅館協同組合の企画で復興感謝キャンペーンとして、同組合加盟の宿泊者にも牛丼が振る舞われました。

きれいな花が並びました 内牧2区老人会が植栽



内牧2区老人会の皆さんから今年も、内牧支所北側の花壇に花を植栽していただきました。

同会では、支所が建築されて以来、毎年植栽しており、今年は黄色やオレンジ色の鮮やかなマリイゴールドが花壇に並び、人々の目を楽しませていきます。



災害復興に向け、応援メッセージ 宇城市松合小の児童が千羽鶴と寄せ書きを贈呈

宇城市立松合小学校の児童が「放課後子ども教室」で千羽鶴と寄せ書きを作成し7月1日、市役所に贈呈しました。

いた人々への恩返しとして、阿蘇市の方が早く元気になってほしいとの願いを込めて復興へのメッセージを示した寄せ書きと千羽鶴を約半年かけて作成しました。

子どもたちが丹精込めて折った千羽鶴と心温まる寄せ書きは左記により展示しますのでご覧ください。

小学校がある松合地区は平成11年9月に台風18号で高潮が発生し、大きな災害を経験したところです。



今回、同校の全校児童48名が、かつて災害復興に支援していただ

【展示場所と期間】

▼一の宮図書館

8月18日(日)まで

▼阿蘇図書館

8月20日(火)から9月1日(日)

阿蘇の神話を子どもたちへ伝えたい！ 神話をまとめた冊子を寄贈

元市文化財保護委員長の渡邊照義氏が中心となって作成した冊子『鬼八伝説』が6月24日、阿蘇市に贈られました。

渡邊氏は、市の文化財保護委員長を長年務め、市内の文化財保護活動の傍ら、地元の大原地区にある霜神社で古くから継承されてきた「火焚神事」の由来となる阿蘇の神話に

ついて、子どもたちへの伝承活動を続けてきました。

今回、阿蘇の神話をより広く知ってもらおうと、火焚神事由来の鬼八伝説を中心に渡邊氏が神話を編集、ボランティアで子ども向けの紙芝居活動を行っている役大原在住の市原美代子氏が挿絵を担当。市内で書店経営の家入桂子氏の協力によ

って冊子としてまとめられました。冊子は子どもたちの郷土学習の教材として



左から家入さん、渡邊さん、市原さん、阿南教育長。

られました。冊子は子どもたちの郷土学習の教材として

九州地区のボーイスカウトが阿蘇市に集合！

来年8月、「第9回九州・沖縄野営大会」が開催されます！

「ボーイスカウト」とは、野外活動を通して健全な子どもを育成する世界運動です。来年8月6日～10日、九州地区のボーイスカウトの皆さん約1000人が、阿蘇いこいの村でキャンプを行います。たくさん子どもたちが阿蘇の大自然のもと活動しますので、市をあげて歓迎しましょう。

地元の子どもたちとの交流も予定されています。
※ボーイスカウトに興味のある方は、
311・2814（岡本）までお問い合わせください。



冊子150部を寄贈。教育委員会では、市内小中学校に配布するとともに、各図書館に閲覧用として配置する予定です。

ASOクリーン作戦へのご協力ありがとうございました！



ミルクロード沿線などで6月22日に実施した「ASOクリーン作戦」では、市民の皆さまをはじめ、企業や各種団体から39団体、総勢600人の方々に参加いただき、清掃作業に取り組みました。

皆さまのご協力により、夏場の観光シーズンを前に約270^キ（可燃ごみ・90^キ、不燃ごみ・180^キ）のゴミを片づけることができました。これからも阿蘇の美しい景観を守っていくため、ご協力をお願いします。参加いただいた団体一覧を阿蘇市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

災害から1年ぶりに再開 一の宮高齢者センター開所式

一の宮温泉センターの再開に引き続き、同敷地内にある一の宮高齢者センターの復旧工事が完了し7月8日、地元区長や関係者など約20人が出席し開所式が行われました。



施設前でのテープカットのようす

一の宮高齢者センターは、地域の憩いの場として地元の人から親しまれており、施設内は以前に比べ明るい雰囲気でも過ごしやすい施設になりました。

式典に出席した古城4区の井征雄区長は、「地域の人も再開を喜んでいいる。芝生広場のグラウンドゴルフ大会も再開して古城地区の交流を深めたい」と話していました。

なお、隣接する一の宮町デイサービスセンターも7月22日に再開し、温泉センターも含め全施設が再開しました。

「5時になったら帰りましょう！」

子どもの声で防災行政無線放送

8月27日までの夏休み期間中、毎日午後5時に、防災行政無線を利用して、児童の声で帰宅を呼びかけています。

今年度は、小学校9校を代表し、下記の児童（6年）に放送をお願いしています。

【一の宮・波野地区】

宮地小	井 穂乃香さん
坂梨小	平岡 瑞稀さん
	坂本 香雪さん
古城小	岩下 瑛怜那さん
	市原 乾子さん
波野小	高日 拓海さん
	尾崎 埜亜さん

【阿蘇地区】

阿蘇小	谷崎 浩國さん
	穴井 夏乃さん
阿蘇西小	家入 俊輔さん
	五嶋 太珠さん
尾ヶ石東部小	坂梨 愛花さん
	河津 樹奈さん
内牧小	森永 貫太さん
	山田小学校



それぞれの文化を交えて、日中の親睦深める 日中青少年書画音楽交流大会

書道や絵画、音楽を通じて日中青少年の交流を深めようと中国から約100人が訪れ7月25日、阿蘇市で日中青少年書画音楽交流大会が行われました。

この大会は、九州日中民間文化交流協会が毎年行っているもので、阿蘇市での開催は初めてです。

市内ホテルで行われた

開会式には、関係者約200人が出席。会場には両国の子どもたちの書道絵画作品460点が展示され、それぞれの受賞者に表彰状が授与されました。

また、茶道や華道、日本舞踊着付けなどの文化交流や阿蘇少女合唱団も参加したアトラクションがあり、親睦を深めました。

「社会を明るくする運動」街頭で呼びかけ



(参加者) 保護司会13名、更生保護女性の会13名、
民生児童委員8名、行政3名

7月の「社会を明るくする運動」強調月間にちなみ、阿蘇地区保護司会中部分会、阿蘇中部更生保護女性の会、民生委員・児童委員協議会の皆さんで組織する阿蘇中部地区推進委員会（山部謙一郎会長）が7月4日、阿蘇市・産山村管内一円で街頭啓発活動を行いました。

今年も広報車を使って中学校や店舗を廻り、非行や犯罪の防止、罪を犯した人の更生への理解と協力を呼びかけました。

豪雨災害を学んで防災意識を高める 一の宮中で防災学習と避難訓練



校舎から靴をもって体育館に避難する生徒たち

昨年の豪雨災害を学び、命の大切さや防災について考えようと7月9日、一の宮中学校で全生徒を対象に防災学習が行われました。

防災学習では、市職員が豪雨災害の被害状況や復興状況、防災対策などについて説明。その後、学校横の川が氾濫したとの想定で避難訓練が行われ、生徒は真剣な面持ちで訓練に臨みました。

生徒会長の赤星仁也さんは「阿蘇は自然災害が多いが、それでも阿蘇が好き。これから阿蘇で安心して生きていくために、学んだことをしっかり生かしたい」とあいさつしました。



コミュニティ助成事業で 地域活動備品を整備

地域社会の健全な発展を図ることを目的とした宝くじの助成金により、狩尾3区が地域活動時に不足していたテーブル、イス、調理機器や音響設備などを公民館に整備しました。

このコミュニティ助成事業は、社会貢献広報事業費を財源

として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

地域活動備品の整備を行ったことにより、同地区ではコミュニティ活動が一層活発になる

と期待されます。



全国大会出場おめでとう！

- 全国高校総体フエンスイミング競技大会
山本くるみさん（翔陽高3年、一の宮中出身）
 - 全国高校総体サッカー競技大会（天津高校）
橘木勇弥さん（阿蘇北中出身）
 - 全国高校総体陸上競技大会
井野太貴さん（一の宮中出身）
 - 全国高校総体陸上競技大会
西口千尋さん（九州学院高1年、一の宮中出身）
 - 全国高等専門学校体育大会柔道競技
嶋田稔也さん
（熊本高等専門学校2年、阿蘇北中出身）
 - 日本クラブユースサッカー選手権
中西雄大さん（ロアッソ熊本ユース・乙姫小出身）
- 「お詫びと訂正」 広報7月号に掲載しました全国大会出場選手紹介で、選手の学校名に誤りがありました。お詫びして訂正します。
- 園田彩乃さん（内牧小4年）
 - 山本悠菜さん（阿蘇中1年）



募 集

路線バスの利用促進に関するアイデアを募集します

財政課 企画係 ☎ 22-3204 📠 22-3204

阿蘇市には、東西（R九州）や地域を結ぶ路線バス（産交バス）などの公共交通機関があります。中でも路線バスは身近な移動手段として大きな役割を担い、多くの人が利用しています。近年では自家用車の普及やその他のさまざまな要因で利用者がめっきり減ってきています。（詳しくは広報あそ5月号をご覧ください。）

路線バスは、子どもから高齢者まで安心して利用できる乗り物です。普段から利用している人にとっては、なくてはならない移動手段であり、その良さは利用しなければわかりません。

例えば、「運転しないので楽」「眠くなっても大丈夫（寝過ぎ

には注意）」「運転免許や自家用車がなくても目的地へ行ける」などです。

今回、公共交通としての路線バスの必要性を知ってもらい、利便性をさらに高めるため、市民の皆さんから楽しく便利に利用するためのアイデアを下記のとおり募集します。

9月20日は「バスの日」です

110年前の1903年（明治36年）、日本（京都市）で初めてバスが運行されました。

この機会に公共交通としての路線バスの良さを見つめ直しましょう。



募集テーマ

「路線バスを楽しく利用するためのアイデア」

例) こんなバスがあると楽しい。このように利用すると役に立つ。私はいつもこのように利用している。など...

●募集対象者

- ①市内に居住している人
- ②市内にある事業所等またはその事業所等に勤務している人
- ③市内の学校に在学している人

※特に日頃から路線バスを利用している人からの応募をお待ちしています。

●**応募方法** 応募用紙にアイデアを具体的に記入して応募してください。用紙は阿蘇市のホームページからダウンロードするか、財政課（☎22-3204）まで連絡してください。電子メールによる提出も可能ですが、送付または持参の場合、封入してください。

●**応募先** 〒869-2695 熊本県阿蘇市一の宮町宮地504番地1 阿蘇市役所財政課

▶メール: zaisei@city.aso.lg.jp（表題を「アイデア応募」としてください。）

▶産交バス（株）阿蘇営業所（運転士の方に渡されても構いません。）

●**募集期間** 9月30日（月）午後5時まで
※市役所及び各支所に提出する場合、閉庁日は除きます。

●**アイデアの活用** 今後の公共交通（路線バス）の利用促進を考えるにあたって、役立たせていただきます。また、「広報あそ」などに掲載して紹介するとともに、特に優れたアイデアには、アイデア賞（賞品）を贈呈します。

●その他

▶応募があったアイデアなどについて、直接、話をお聞きする事もあります。

▶応募されたアイデアなどの権利は、阿蘇市に帰属することになりますので、あらかじめご承知ください。



案内

ふるさと納税にご協力をお願いします

住環境課 都市・環境係 ☎ 22-3169 ☎ 22-3169

※ふるさと納税制度に関しては税務課 (☎ 22-3148)、A S O環境共生基金に関しては住環境課 (☎ 22-3169) まで。

ふるさと納税(寄付)制度とは?

ふるさとの自治体へ寄付をいただくことで、個人住民税及び所得税の一部を軽減できる制度です。

実質的な負担は2千円

一定の限度内で寄付をされると、実質的に負担される金額は2千円となります。ただし、個人住民税については、所得割額の1割を限度とするなど、一定の制限があります。

毎年寄付できます

寄付金控除は毎年受けられます。したがって、この制度を継続的に活用して「ふるさと阿蘇」を応援することができます。

市では、阿蘇の自然環境を維持・保全し後世に引き継ぐため、ふるさと納税制度「A S O環境共生基金」を設けています。この基金では阿蘇に想いを寄せていただける方々からのご寄付を活用し、阿蘇の自然環境に関する各種事業を実施しています。

「ふるさと阿蘇」の自然環境を守るため、阿蘇

市へのふるさと納税(寄付)についてご協力をお願いいたします。

市外にお住まいのご家族・ご親戚やお知り合いなどに阿蘇市へのふるさと納税(寄付)を呼びかけていただきますようお願いいたします。

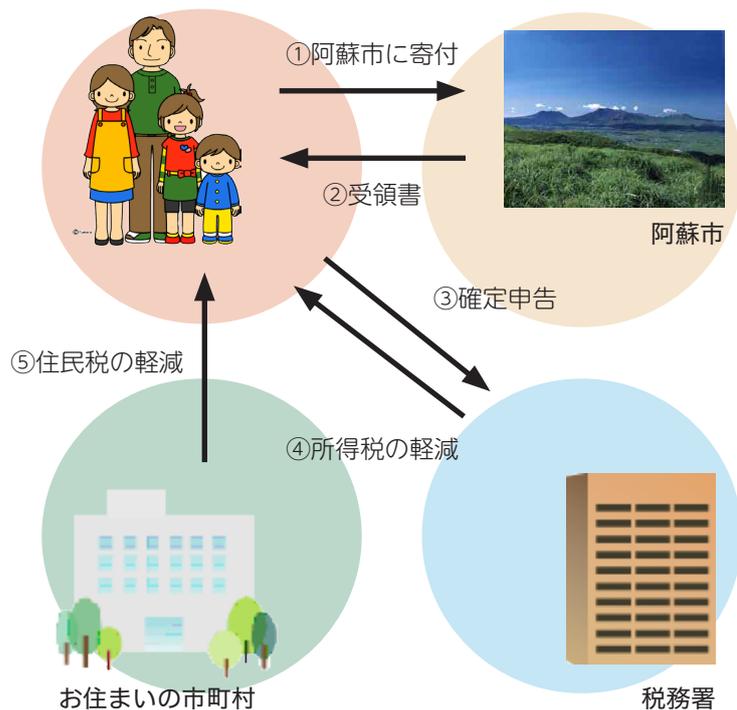
寄付をご検討いただける場合は、ご一報いただけますとご案内のパンフレットをお送りします。

A S O環境共生基金とは

阿蘇は、阿蘇山(阿蘇五岳)を中心とする世界最大級のカルデラ、日本一の規模を誇る広大な草原など世界に類のない雄大な自然景観、“九州の水がめ”と言われる阿蘇の大地が育む豊かな水、阿蘇特有の希少な動植物が自生するなど豊富な自然資源を有しています。

これらの自然環境を国民共有の財産として維持・保全し後世に引き継ぐために、阿蘇に想いを寄せていただける方々から寄付を受け、基金として積み立て阿蘇の自然環境に関する各種事業を実施するため阿蘇市が独自に設立した基金です。

ふるさと納税(寄付)の流れ





案内

《国民健康保険》国保限度額適用・標準負担額認定証の更新手続き

ほけん課 国保・年金係 ☎ 22-3145 ☎ 56-3145

【国】 国民健康保険に加入している人で、入院したときの医療費や食事代について、下記の認定証の有効期限が平成25年7月31日までとなっている人は、引き続き該当する人は、8月31日までに更新の手続きを行ってください。（8月中の更新手続きによって8月1日から有効となります）

また、入院中（予定）の人で認定証をお持ちでない場合は、ほけん課国保・年金係または各支所市民係までご相談ください。

■限度額適用認定証
入院時に、月ごとにかかる一部負担金が自己負担限度額までとなります。自己負担限度額は、前年の所得に応じて決定します。（対象は69歳までの人または70〜74歳の住民税非課税世帯の人）

※国民健康保険税を滞納している場合は限度額適用認定証の交付は受けられません。

※申告をしていない場合は上位所得者となり、みなされ、限度額が高設定されてしまいます。

■標準負担額減額認定証・長期入院該当
74歳までの住民税非課税世帯の人については、入院時の食事代が減額されます。なお、90日を超える入院の場合は長期入院該当となり、申請により食事代がさらに減額されます。（その場合は90日以上入院を証明できる書類が必要となります）

●申請に必要なもの
▼被保険者証
▼現在お持ちの認定証
▼印鑑

山田配水池が完成しました

老朽化していた山田配水池の整備工事が終わり、新しい配水池が完成しました。7月末日に切替え作業を実施し、新しい配水池からの給水を行います。山田配水池からの給水区域については山田地区、原の口地区です。



(問い合わせ) 阿蘇市水道課
☎ 22 - 3196

緑の募金運動にご協力ありがとうございました

さまざまな森づくりや人づくり活動に活かされる緑の募金について、4月から受け付け、各行政区長を通じ募金いただいた金額は次のとおりです。お寄せいただいた募金は、熊本県緑化推進委員会へ送金し、次のような取り組みに活用されます。

合計 金 **837,600円**

- ▶ 植樹祭、育樹祭の開催による環境緑化の推進
- ▶ 次代を担う「緑の少年団」の育成、学校緑化
- ▶ 県民、企業、団体等の協働による「県民参加の森林づくり」の推進
- ▶ 緑化キャンペーンによる緑化の啓発活動など

《 問い合わせ 阿蘇市農政課 ☎ 22-3274 》

阿蘇市波野出身の弁護士です！！

法律的な御相談をお受けいたします。

民事事件一般をお受けします。執務時間は土・日・祝祭日を除き 9:00～18:00迄 急用の方は佐藤眞喜夫自宅へ連絡下さい。

弁護士 佐藤 眞喜夫

【東京弁護士会所属・中央大学卒】
佐藤眞喜夫法律事務所
〒102-0085 東京都千代田区六番町六番地一階のりむら六番町705号

弁護士 佐藤 聖喜

【東京弁護士会所属・京都大学卒】
千代田中央法律事務所 所長
〒102-0085 東京都千代田区六番町六番地一階のりむら六番町704号

TEL 03-3265-4981 (代)

FAX 03-3234-5917

《佐藤 眞喜夫宅》〒861-5512 熊本市北区梶尾町1107番12 TEL:096-245-5007 FAX:096-288-1394

広告

案内

計量器の定期検査が実施されます

観光まちづくり課 商工物産係 ☎22-3174 ☎22-3174

取引や証明をする
ことを目的とし
て使用する計量器(重
さを計るはかり)は、
2年に一度定期検査を
受けることを法律(計
量法第19条)で義務付
けられています。なお、
前回(平成23年)の検
査を受けた人は、熊本
県計量センターから通
知されますが、今回新
たに該当する人は観光
まちづくり課までお問
い合わせください。
該当する計量器を使
用している人は、下記
の日程で行われる検査
をお受けください。

●持参物
▼計量器(質量計など)
▼手数料(1台あ
たり500円
2200円)

●検査対象計量器
▼商店などで商品の売
買に使用するはか
り



▼病院、薬局などで使
用している調剤用
のはかり
▼学校、病院、保育園
などで使用してい
る体重測定用の
はかり
▼農協など流通物資の
集荷、出荷などに使
用するはかり
▼宅配など運送業者な
どが貨物の運賃算
出用に使用するは
かり
▼農業などの生産者が
生産物等の売買に
使用するはかり

検査日	検査受付時間	検査場所
9月2日 月	10:00 ~ 15:00	JA 阿蘇 黒川支所第二倉庫
9月3日 火	10:00 ~ 12:00	阿蘇グリーンストック (旧 JA 阿蘇永水支所)
9月3日 火	13:30 ~ 15:00	阿蘇市地域農業再生協議会 (旧 JA 阿蘇山田支所)
9月4日 水	10:00 ~ 15:00	農村環境改善センター (内牧)
9月5日 木	10:00 ~ 15:00	一の宮体育館
9月6日 金	10:30 ~ 12:00	阿蘇市波野支所

介護老人保健施設



愛・ライフ内牧

要支援、要介護者を支援する
入所(125床)通所リハビリ(1日定員70名)

※いつでも見学出来ます 阿蘇市内牧1105-1

☎0967-32-5511

納涼祭のお知らせ

開催日:平成25年8月24日(土)

夜の部:18時~21時

場所:愛・ライフ内牧1階

※地域の皆様も是非ご参加下さい。



案内

がんばるあなたを応援！人づくり・地域づくり事業を支援します

観光まちづくり課 地域振興係 ☎22-3174 ☎22-3174

市では、人づくり・地域づくりを推進する住民活動を広く支援し、活動の一層の促進と地域活性化への波及効果を図るための各種助成事業を行っています。

助成を受けようと思われたい人は、計画の段階で観光まちづくり課へご連絡ください。

●助成対象

- ▼市内に在住または勤務する個人
 - ▼市内に所在する団体・グループなどで、活動について他の機関または団体から資金的援助を受けていないもの
 - ▼事業を実施する地域からの賛同を得た事業であること
- ※右記の助成対象であり、年度内に完了する事業で申請後1

か月を過ぎて実施されるものに限ります。

●対象外事業

- ▼既に事業を実施している若しくは申請後1ヶ月以内に実施予定の事業
 - ▼市の補助金を以前に受けた同一事業若しくは同一事業とみなされる事業
 - ▼当該助成金を以前に活用した継続事業とみなされる事業
 - ▼人夫賃などの労務費や食糧費、会場使用料など
- ※助成金は、申請後事業採択され交付決定の通知があつてから事業着手となります。交付決定前での事前着工は認められません。

事業名	助成基準	
①人づくり事業 ▼国内外での調査研究活動（1事業につき）	国内	(1) 総事業費の90%以内 (2) 最高限度額 15万円
	国外	(1) 総事業費の90%以内 (2) 最高限度額 35万円
②環境づくり事業 ▼街並景観、農村環境、自然環境保全活動など	(1) 総事業費の80%以内 (2) 最高限度額 50万円	
③地域づくり事業 ▼手づくりのイベント、特産品の開発、地域づくりに関する研究・交流活動など	(1) 総事業費の80%以内 (2) 最高限度額 50万円	
④文化づくり事業 ▼郷土文化の保全、育成活動など	(1) 総事業費の80%以内 (2) 最高限度額 50万円	

五岳を望む聖地

あそ宮地墓地

募集区画 5㎡より各種 全区画平地

阿蘇市一の宮町宮地4699

一の宮運動公園通り

電話 (0967) 22-6099

墓地・墓石の事なら何でもご相談下さい

洗練されたデザイン・確かな施工

有限会社 石 翔 へ

お気軽にお問い合わせ下さい。

広告

くらしのお知らせや
イベント情報などを掲載します

市役所の電話番号

☎・・・お知らせ端末の電話番号
例本庁(総務課) :55-3111又は56-3111

本庁(総務課)	☎22-3111	☎55・56
(情報管理室)	☎22-3253	☎55
財政課	☎22-3204	
税務課	☎22-3148	☎55・56
内牧支所	☎32-1111	☎55・56
波野支所	☎24-2001	☎24
市民課	☎22-3135	☎55
(消費生活センター)	☎22-3364	☎55
人権啓発課	☎22-3206	
福祉課	☎22-3167	☎55~57
ほけん課	☎22-3145	☎55・56
(保健センター)	☎22-5088	☎55・56
農政課	☎22-3274	
観光まちづくり課	☎22-3174	
建設課	☎22-3187	
住環境課	☎22-3169	
水道課	☎22-3196	
教育課	☎22-3229	
会計課	☎22-3284	
議会事務局	☎22-3279	
監査委員事務局	☎22-3240	
農業委員会事務局	☎22-3254	
選挙管理委員会事務局	☎22-3239	

市役所のホームページ

パソコンから	http://www.city.aso.kumamoto.jp/
携帯電話から	http://www.city.aso.kumamoto.jp/kt/

防 災 情 報 確 認

阿蘇安心安全ネットワークシステム

- ▶ <https://www.aso-anzen.jp/>(パソコン)
- ▶ <https://www.aso-anzen.jp/app-frontmb/>(携帯電話)

熊本県統合型防災情報システム

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

熊本県雨量・気象情報 (携帯電話)

<http://kumamoto.wni.co.jp/i/>

人の動き (H25.6.30現在)

人口	28,250 人 (前月から 14人↑)
男	13,318 人 (前月から 0人→)
女	14,932 人 (前月から 14人↑)
世帯数	11,219 戸 (前月から 10戸↑)

お 知 ら せ

森林土地の取得には届け出が必要

個人・法人を問わず売買や相続などで森林の土地を新たに取得した人は、森林法の規定により、土地の所有者となった日から90日以内に、面積に関わらず土地のある市町村へ届け出をしなければなりません。

届出書の記載事項

- ▽届出者・前所有者の住所、氏名
 - ▽所有者となった年月日
 - ▽所有権移転の原因
 - ▽土地の所在、面積、用途
- 届出書の添付書類
- ▽登記事項証明書(写しも可)

または土地売買契約書など権利を取得したことが分かる書類の写し

▽土地の位置を示す図面

※ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出した場合は、森林の土地所有者届け出は不要。

●提出先・問い合わせ 阿蘇市農政課 ☎22・3274



県産木材・くまもと畳表を
セットでプレゼント

熊本県木材協会連合会では、県内で木材建築事業所(多くの方が訪れる公共性の高い建物)を新築・リフォームされる事業者に県産木材・くまもと畳表を無償で提供する事業を実施します。

- 提供する木材および畳表は、一棟あたりの上限が定められていますので、申込条件・申込方法など事業詳細と併せて左記までお問い合わせください。
- 募集期間 12月2日(日)
 - 募集棟数 5棟
 - 問い合わせ (社)熊本県木材協会連合会 ☎096・382・7919

400mL 献血にご協力ください!

- と き 8月30日(金)
(午前) 9:30 ~ 12:00
(午後) 13:00 ~ 16:00
- と ころ 阿蘇市役所
- 主 催 熊本県自動車整備組合阿蘇支部青年部
- 問 合 わ せ ほけん課 ☎22-3145



くまもと夏のライトダウン

県では期日を定めてライトダウンキャンペーンを展開して
ます。

ライトアップ施設や家庭の電
気を消すことで、ライトアップ
に馴れた国民一人ひとりに対し
て、日頃いかに照明を使用して
いるかを実感していただき、日
常生活の中で温暖化防止・省エ
ネを実践する動機づけを与えて
いくことが目的です。

皆さまのご協力をお願いしま
す。また、キャンペーン以外で

も節電にかかる積極的な取り組
みをお願いします。

●期日

▽8月7日(金) (立秋)

▽8月23日(金) (処暑)

▽9月7日(土) (白露)

●時間 午後8時～10時までの
2時間

●内容 施設の夜間照明(看
板など)のライトダウン(消
灯)、各家庭のライトダウン(消
灯)

●問い合わせ

熊本県環境生活部環境局

環境立県推進課

☎096・333・2264

『特別警報』の発表を開始します
平成25年8月30日から

気象庁は平成25年8月30日から特別警報の発表を開始します。

特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告等に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keiho/index.html>

●お問い合わせ

熊本地方気象台防災業務課

☎096 - 324 - 3283

相談・募集

「みどり香るまちづくり」
企画コンテスト

まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで良好なかおり環境を創出しようとする地域の取り組みを支援することを目的に、コンテストを実施します。

●募集企画の要件

かおりの効果を期待できるかおりの樹木・宿根草・その他の草花を原則として30本(株)以上用い、街区・近郊 地区等の「みどり香るまちづくり」を演出する企画。

●表彰

環境大臣賞(1点)ほか複数。副賞として企画に応じたかおりの樹木・宿根草・その他の草花の苗木・苗など。

●応募主体

地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会などの住民団体やNPOなど。

●募集期間

10月11日(金)まで
(当日消印有効)

●問い合わせ

環境省水・大気
環境局大気生活環境室

☎03・5521・8299

風の通る呼吸する木の家

渡辺建設株式会社

〒869-2223 阿蘇市竹原4-1 TEL 0967-34-0257

info@t-watanabekensetsu.com

検索は 熊本 新築 渡辺建設 検索

注文住宅

リフォーム

耐震診断

古民家再生

昔ながらの生活で爛し磨かれた古材の活用、和の趣を活かす。

古民家一級鑑定士
伝統資材施工士

渡辺富廣



広告

**農産物加工食品コンクール
申込募集!**

阿蘇地域での農産物加工開発の推進と農業・農村の活性化を図るため、「阿蘇地域農産物加工食品コンクール」を開催します。入賞食品は、直売所などで幅広くPRを行い、販売促進を応援します!

申し込み方法など、詳しくは左記までご連絡ください。

●募集期限 8月21日(金)

●申込書提出先・問い合わせ

阿蘇地域振興局 農業普及・振興課
☎22・1115

**生活衛生関係営業者
経営相談室**

生活衛生関係営業者を対象にした相談会を開催します。一人で考え込む前に、お気軽にご相談ください。相談は無料です。

●とき 9月9日(月)

午前10時～午後3時

●ところ 阿蘇保健所

●相談内容

▼経営相談 ▼融資相談

▼税務相談

●問い合わせ (公財) 熊本県

生活衛生営業指導センター
☎096・362・3061

**「くまもと米粉甲子園」
料理レシピ募集**

おいしさの頂点を目指して、高校生オリジナルのアイデアレシピでバトル!

優秀作品を選定し、事業者による商品化及び販売につなげます。

●参加対象 県内高校生(個人またはグループ)

●募集内容

▼県産米粉を使用したパン・スイーツレシピ
▼県産米粉を使用した米粉麺の料理レシピ

●募集期間 9月10日(火)まで

※募集要領や応募用紙等は、ホームページに掲載しています。「くまもとの米粉」で検索してください。

●問い合わせ 熊本県農産課

☎096・333・2388

**不動産トラブル110番
住宅・土地の無料相談会**

住宅や土地のトラブルに関する無料相談会を行います。事前予約は不要です。電話での相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。

●とき 8月24日(日)

午前10時～午後4時

●ところ

▼熊本県婦人会館(熊本市中央区水道町14番21号)

▼熊本県司法書士会(熊本市中央区大江4丁目4番34号)

●相談電話番号

☎096・364・0800

●問い合わせ

司法書士 川口

☎0965・62・1770

土地家屋調査士 宮本

☎096・346・3927

お金の悩み無料相談会

借金問題でお悩みの人の無料相談会を開催します。専門家に相談することが解決への早道です。秘密は厳守しますので、安心して相談してください。

なお、当日は事業者向けの相談や臨床心理士によるこころの健康相談もお受けします。

●とき 9月13日(金)

午後12時30分～3時30分

●ところ 崇城大学市民ホール(熊本市民会館)

●予約・問い合わせ

熊本県消費生活センター

☎096・383・0999

※できるだけ予約をお願いします。

離婚・相続・借金・交通事故・土地の境界 etc... ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

受付時間：平日10時～17時(事前予約制) TEL：0967-22-5223

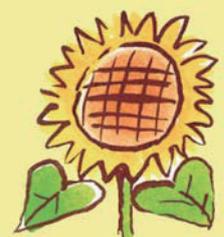
- 一般相談料 30分1050円
- 『多重債務』の相談は無料

阿蘇ひまわり基金法律事務所

地域の法律事務所として設立された公設事務所です。

熊本県弁護士会所属 弁護士 関塚 明子(せきづか あきこ)

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2005-8-203(阿蘇市商工会一の宮支所となり)



試験

危険物取扱者試験

●試験種類

甲種・乙種第1類～第6類、丙種

●試験日 11月4日

●受付

▼書類申請 9月9日～19日

▼電子申請 9月6日～16日

●試験地 熊本市、八代市、

天草市、玉名市

●問い合わせ（一財）消防試験研究センター熊本県支部

☎096・364・5005

イベント・催し

モーモーフェスタ&第7回阿蘇地域畜産共進会

あか牛のバーベキューに舌鼓を打ちま



せんか？当日はさまざままな催しが開催され、楽しいひとときです。また、同会場では畜産農家が丹精込めて育てた牛馬の品評会も

開催されます。

●とき 9月7日

●ところ 阿蘇市みんなの森（阿蘇市蔵原）

●イベント内容

こどもスケッチ大会（対象：幼児、小学生）、首席予想ゲームなど

●食のコーナー

▼あか牛のバーベキュー（あか牛肉・おにぎり・野菜のセット）

▼阿蘇の特産物などの販売

▼乳製品等販売

※内容は変更する場合があります。

●問い合わせ 阿蘇市農政課

☎22・3274

第3回ASO動物愛護まつり

〔長寿犬、猫募集！〕

動物愛護週間に伴うイベントとして「第3回ASO動物愛護まつり」が開催されます。長寿動物の表彰や、犬や猫の里親探しなどを予定しています。

なお、長寿動物の表彰は事前申し込みが必要で、詳細は次のとおりです。

●とき 9月22日

午前10時～正午

●ところ はな阿蘇美

●参加費 無料

平成25年度 自衛官採用試験のご案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	試験種目	試験場所
自衛官候補生(男子)	18歳以上 27歳未満	随時	(1次) 9月16日	筆記試験・適性検査	阿蘇地域振興局
			(2次) 9月18日～ 9月23日、 9月26日～ 9月30日 (うち指定する1日)	口述試験・身体検査	北熊本駐屯地
自衛官候補生(女子)		8月1日～ 9月6日	(1次) 9月24日～ 9月25日	筆記試験・適性検査 口述試験・身体検査	北熊本駐屯地
一般曹候補生			(1次) 9月16日	筆記試験・適性検査	阿蘇地域振興局
			(2次) 10月8日～ 10月11日 (うち指定する1日)	口述試験・身体検査	健軍駐屯地
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満		(1次) 9月21日	筆記試験・適性検査	熊本県青年会館
看護学生	高卒(見込含) 21歳未満	9月5日～ 9月30日	(1次) 10月19日	筆記試験	熊本県青年会館

＜問い合わせ先＞自衛隊熊本地方協力本部 阿蘇地域事務所 ☎22-4575

【長寿動物表彰の条件】

●犬の場合

▼阿蘇市に登録のある犬

▼15歳以上（平成10年9月21日以前に生まれていること）

●猫の場合

▼動物病院でワクチンを接種している猫

▼15歳以上（平成10年9月21日以前に生まれていること）

●申込期限 8月30日金

●問い合わせ

▼阿蘇保健所 ☎32・0535
▼阿蘇市市民課 ☎22・3135



『元気だっ！阿蘇』
熊本県太鼓連盟真夏の響演会

熊本県太鼓連盟による阿蘇復興チャリティ響演会を開催します。和太鼓の響きを持つ「力強さ」と、その響きが与えてくれる「元気」を、参加者全員で共有しましょう。

会場では食のバザーも併せて開催します。

●とき 8月18日日

午前10時～午後4時

●ところ 阿蘇体育館駐車場

●内容

▼熊本県太鼓連盟参加団体による各演奏

▼市民参加イベント「大太鼓一発打ちコンテスト」

●問い合わせ

熊本県太鼓連盟（鬼塚）
☎090・7395・4157

第2回防災講座

一人ひとりの災害に対する危機意識を高めるために、防災講座を3回に分けて開催しています。第2回目の今回は地域コミュニティにおける防災対策としての講座です。

事前申し込みが必要ですので、左記まで電話にてお申し込みください。

●とき 8月31日田

午後1時30分受付 2時開会

●ところ

農村環境改善センター（内牧）

●演題 みんなで考えよう！こ

近所づきあいでの災害への備え

●講師

向山校区まちづくり委員会

会長 田上一成氏

事務局長 野間口壽子氏

●問い合わせ 阿蘇市教育課

☎22・3229

みんなの広場

一の宮少年柔道
クラブ員募集

伝統ある「一の宮少年柔道クラブ」では、青少年の健全な心身育成と少年柔道の普及発展のため、クラブ員を募集しています。

■募集対象

小学1年生から6年生までの男女

■練習日・練習場所

▼一の宮武道場（旧報徳道場）
月・金曜 午後6時～8時

▼阿蘇中学校武道場

火・木曜 午後6時～8時
※部費などの詳細はお問い合わせください。

■申込・問い合わせ

八木 ☎090・8666・7582

みんなで踊ろう
よさこい体験

「よさこい」に興味のある方はもちろん、健康のために体を動かしたい方などお気軽に体験してみませんか？幼児から一般の方まで（男女問わず）健康な方ならどなたでもOK！

■日時 毎週月曜

午後7時30分～9時

■場所 坂梨公民館

※動きやすい服装。
※小学生以下は保護者同伴。

※見学だけでもOKです。

■お問い合わせ

ASO☆K.O.ー花流伝羅
佐藤 ☎090・9867・5080

塗装・防水工事・メンテナンスまで

井上 株式会社

〒869-2302熊本県阿蘇市三久保448番地22
web http://www.aso-inoue.com/
E-mail info@aso-inoue.com
受付 平日 9:00～18:00

※土日祝日は事前連絡により対応可

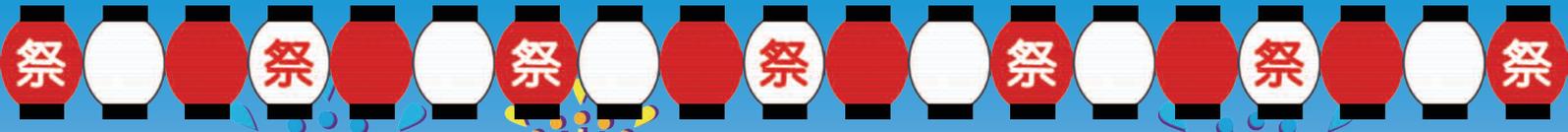
塗 装 防 水

－お見積・調査 無料－

塗装（屋根・壁・破風板・軒天・塀・建具・他）

防水（雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コーキング・他）

もしも 0967-32-1501



第30回なみの高原納涼まつり

花火大会やステージショー、お楽しみ抽選会など様々なイベントが行われます。

- とき 8月15日(木)
- ところ 道の駅波野「神楽苑」
- 内容
 - 17:00 子ども太鼓(オープニング)
 - 17:15 開会式
 - 17:30 ヤマメつかみどり大会
 - 18:00 子ども神楽
 - 18:30 ステージショー
 - 20:10 お楽しみ抽選会
 - 20:40 花火大会(荒天時は中止)



大阿蘇火の山まつり

2013発の花火大会やステージショー、400mの露店など見どころ満載!

また、今年は内牧温泉街繁栄会による夜市も同時開催します

- とき 8月19日(月)・20日(火)
- ところ 阿蘇体育館駐車場(内牧)
- 内容
 - ≪19日≫
 - 17:00 子ども樽神輿パレード
 - 17:25 開会式
 - 18:00 ステージショー
 - 20:20 花火大会(荒天時は翌日に順延)
 - ≪20日≫
 - 18:00 ステージショー
 - 19:30 総おどり

※いずれも時間は予定ですので、多少前後する場合があります。
 ※問い合わせ 観光まちづくり課 ☎22-3174

観覧申込方法 [入場無料]

- 観覧申込方法

郵便往復はがきの往信用裏面に①郵便番号②住所③名前④電話番号をお書きください。返信用の宛名にも①郵便番号②住所③名前をお書きください。(返信用裏面には何も記入しないでください。)
- 応募先 〒860-8602
NHK熊本放送局「出張!ふるさとソングショー」係
- 募集締切
9月2日(日)必着
- ※応募多数の場合は抽選の上、1枚で2人様まで入場できる整理券を9月11日(水)頃に発送する予定です。
- ※1歳以上から入場整理券が必要です。
- ※ご応募の際にいただいた個人情報、抽選結果のご連絡ほか、NHKの受信料のお願いに使用させていただくことがあります。
- ホームページ
<http://www.nhk.or.jp/kumamoto/>

九州北部豪雨災害復興支援イベント
「出張!ふるさとソングショー」公開録画 観覧者募集

NHK熊本放送局と阿蘇市では、九州北部豪雨災害復興支援イベントとして「出張!ふるさとソングショー」の公開録画を次のとおり実施します。

この番組は、人気歌手の皆さんの歌と、地域の話題や、そこに暮らす皆さんとの楽しいやりとりをお届けする公開番組です。

司会は、話芸の達人、博多華丸・大吉のお二人。トークも歌も楽しめる、これまでにない地域密着型の歌謡ショーです。観覧をご希望の人は左記の要領でお申し込みください。

- とき 9月23日(日)
- 開場/午後4時
- 開演/午後4時50分
- 終演予定/午後6時30分
- ところ 阿蘇体育館(内牧)
- 出演 池田輝郎、坂本冬美、前川清、水森かおり、森山愛子(五十音順)
- 司会 博多華丸・大吉
- 放送予定 11月17日(日) 午後8時~8時59分(BSプレミアム)
- ※放送日時変更になる場合があります。
- 主催 NHK熊本放送局、阿蘇市
- 問い合わせ NHK熊本放送局 ☎096・326・8353(自動応答)

行事・イベント

8月

- 15日 困：なみの高原納涼まつり
- 17日 田：あそGEOすけっち大会
(阿蘇火山博物館)
- 19日 囿：大阿蘇火の山まつり
- 24日 田：第21回火の山旗子供相撲大会(内牧小)
//：夏の杵島岳ジオツアーと阿蘇火山博物館
//：ヒューマン21文化祭(旧役犬原小)
- 25日 田：消防団標的落とし競技(内牧遊水地)
- 31日 田：第3回大阿蘇元気ウオーク(～1日)

9月

- 1日 田：中江岩戸神楽定期公演
- 7日 田：モーモーフェスタ&第67回阿蘇地域畜産共進会(みんなの森)

スポーツ施設スケジュール

(内容は7月19日現在)

●阿蘇体育館 (☎32-4000)

8月

- 9日 田：火の山旗高校バスケットボール大会(～11日)
- 25日 田：阿蘇火の山旗少年剣道錬成大会
- 31日 田：2013キッズバスケットボールサマーフェスティバル(～9月1日)

9月

- 8日 田：阿蘇郡市親善卓球大会

●農村公園あぴか (☎32-5081)

8月

- 16日 田：セルジオサッカー大会(～18日)
- 18日 田：火の山まつり野球大会
- 20日 囿：ベルギーサッカー大会(～22日)
- 24日 田：大阿蘇旗野球大会(～25日)
- 27日 囿：ファイヤーカップサッカー大会(～29日)

9月

- 7日 田：陸上記録会
- 8日 田：熊本県商工会ソフトボール大会
- 15日 田：シニアサッカー大会

阿蘇ポリス Vol.8
インフォメーション 阿蘇警察署 ☎22-5110
ASO POLICE INFORMATION

～熊本県警察職員募集(警察官B・警察事務)～

県民の生命(いのち)・財産を守り、これからの熊本を背負う人材を募集しています!

●警察官B(男性・女性)

- ▶受付期間 8月12日(月)～30日(金)
- ▶試験日 10月20日(日)
- ▶試験内容 教養・作文
- ▶受験資格 18歳～27歳の人(昭和61年4月2日～平成8年4月1日生)

●警察事務

- ▶受付期間 8月12日(月)～30日(金)
- ▶試験日 9月29日(日)
- ▶試験内容 教養・適正
- ▶受験資格 18歳～21歳の人(平成4年4月2日～平成8年4月1日生)

※いずれも1次試験合格者は、2次試験を実施します。詳しくはお問い合わせください。

■採用予定数

- ▶警察官B 64人程度(男性56人、女性8人)
- ▶警察事務 3人程度

■問い合わせ

阿蘇警察署総務係 ☎22-5110

健康で明るい末永い在宅生活を支援します。

循環器内科

高血圧・心不全・不整脈・糖尿病・狭心症・腎臓病等が主な対象です。

人工透析

午前、午後、夜間および入院透析

在宅療養支援診療所

・癌患者を含む在宅患者の訪問診療／訪問看護の24時間支援・訪問リハビリ
・入院機能を生かした在宅支援をします。



医療法人 坂梨ハート会

さかなしハートクリニック

小里249番地の2
TEL 24-6262

広告

オススメ図書 新刊案内

先月号からスタートした新刊案内です。みなさんに「あっ!こんな本もあるの?!」と思ってもらえるように、いろんなジャンルの本をご案内します。

土蛍～猿若町捕物帳～ ▷近藤史恵著



吉原の火事で、青柳屋の遊女・梅が枝は火傷を負った。同心・玉島千蔭は梅が枝を気遣うが、見舞いに行こうとはしない。やがて、梅が枝の身請けの話が進んでいるという噂が流れ…。『寒椿ゆれる』につづくシリーズ5作目。著者は、推理小説や児童文学など多彩なジャンルの作品を次々と生み出しており、そのどれもが高い評価を受けている。

わたしのとっておき麺

暑い夏は、やっぱり麺が食べたくなります! 丸ごとトマトのパスタ、スパイス揚げうどん、ワンタン入りスープ春雨、塩豚と磯のりにゅうめん…。日ごろから麺に親しむ料理家たちのとっておきレシピを紹介します。麺料理の幅が広がるアイデアが満載です。



ザ・ロスチャイルド ▷渋井真帆著



19世紀、ヨーロッパ全土を震撼させた2人の怪物、ナポレオン・ボナパルトとネイサン・マイヤー・ロスチャイルド。2つの正義、2つの理想、男たちが目指したものは何だったのか? ロスチャイルド家とは、世界に名だたる財閥。高級ワインのラフィットやムートンのオーナーでも知られる。『赤い楯 - ロスチャイルドの謎 - 』上下巻も一緒に読むとより一層楽しめるのではないのでしょうか?

海のひみつ

海の世界のあっと驚く地形や生き物から、深海生物、環境問題まで、様々な海のひみつを迫力のある写真とイラストで解説する図鑑。先頃、深海に住むダイオウイカの動画が話題になりました。撮影は、NHKや国立科学博物館など11か国から総勢50名のスタッフが結集し、小笠原諸島周辺で行われたそうです。地球の海最後のミステリーとされてきましたが、私たちの知らない世界がまだまだあるのではないのでしょうか。



移動図書館

日程

阿蘇地区 東コース

8月6日(日)・9月10日(日)

山田公民館
13:35 ~ 13:50
下の原公民館
14:00 ~ 14:15
西役犬原公民館
14:25 ~ 14:40
竹原公民館
14:50 ~ 15:10
猿渡製材所前
15:20 ~ 15:35
坊中公民館
15:40 ~ 16:00
佐伯商會前
16:10 ~ 16:25

阿蘇地区 西コース

8月20日(日)・9月18日(日)

枳天満宮
14:20 ~ 14:40
赤水駅前
14:50 ~ 15:10
宮本酒店前
15:20 ~ 15:40
上の小屋前バス停
15:50 ~ 16:10

一の宮地区

8月22日(日)・9月19日(日)

波野保健福祉センター
10:40 ~ 11:10
坂梨公民館
13:30 ~ 13:50
古城公民館
14:00 ~ 14:20

おはなしアップルの おはなし会

パネルシアターやエプロンシアターなど内容もりだくさんのおはなし会です。ぜひ、ご家族でご来館ください。

●とき 8月31日(日)

午後2時~

●ところ 阿蘇図書館

●参加 無料

青年海外協力隊

江藤真理子さん 活動報告

独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティアのひとつ「青年海外協力隊」として、ソロモン諸島で活動中の江藤真理子さん(阿蘇市出身)の、現地での活動を紹介します。



出発前の表敬訪問時の様子

私は青年海外協力隊として、平成24年1月にソロモン諸島に派遣されました。もともと海外で働きたいという思いがあり、現地の人と同じ生活環境で長期間その国に滞在したいという思いから、協力隊に応募しました。現在は、ウェスタン州のセゲ村というところで、看護師として活動しています。

ソロモン諸島は大洋州にある島国で、大小合わせると約1000の島があります。第2次世界大戦の際は、日本軍とアメリカ軍の戦闘の舞台にもなりました。今でも各地に日本軍の戦車や大砲が残っています。

ソロモンには医師の養成機関がないため、医師の数が少ないのが現状です。数少ない医師も首都に集中しているので、私の働く診療所も含め、地方に医師はいません。そのため、患者の診察・薬の処方・傷の縫合・分娩介助など、日本では医師や助産師がすることを、ソロモンでは看護師が担っています。よってソロモンの看護師は医学の知識が豊富であり、私は多くのことを学んでいます。

一方、手洗いや手袋・エプロンの装着といった感染対策・使用したものをすぐ片付けるといった整理整頓・患者さんのサービスを第一に考えるといったことが十分ではありません。私は一スタッフとして診療業務をこなしながら、そういったことを改善に取り組んでいます。ソロモンは常夏なので、年中



入院患者の家族と記念撮影

蚊がいます。そのため、蚊が媒介となるマラリア・デング熱といった感染症が問題です。また、衛生環境が悪く呼吸器感染症(いわゆる風邪や肺炎)、皮膚感染症(傷が化膿したり、疥癬(かいせん)やシラミ)の患者さんが多いです。最近では高血圧や糖尿病といった生活習慣病も増えています。

島が点在しているので、診療所までカヌーやエンジンボートで来る人が大半なのですが、天気が悪かったりエンジンボートのガソリン代が払えなかったりといった理由で受診が遅れ、悪化してくる患者さんも多くいます。受診しても、薬がないこと

もあり(ソロモン自体に在庫がない)、申し訳なく思うことも多々あります。

生まれも育ちも阿蘇の私にとって、目の前に海が広がる今の生活を不思議に感じることはありません。そして一方で、阿蘇の山々や寒さを懐かしく感じます。村は電気も水も通っていません。

しかし、ソーラーパネルを借りて夜は電球をつけることができます。レインタンクに雨水をため、その水を使用することができます。赴任当時はそういった生活を不便に感じ、蚊やハエや蟻の多さにへきえきし、暑さがしんどく感じる毎日でしたが、人間慣れるものです。

また、晴れの日が続けばレインタンクの心配をし、雨が続けばソーラーパネルのバッテリーの心配をし、人間は自然に左右されて生きているのだなと痛感します。日本で生活していた時には感じる事がなかったあたりがたさを、ソロモンで感じる事ができたことは本当によかったです。

ソロモンは平成19年と今年の

2月に津波の被害を受けています。テレビが普及していないにもかかわらず、平成23年の東日本大震災の津波をほとんどの人が知っており、初めて会う人には必ずと言っていいほど、「津波は大丈夫だったのか」と聞かれます。その一方で、中国やマレーシア、フィリピンと同じ文化や言語と認識している人が大半です。外国の、日本に対する知識を知ることができたことも、発見の一つです。

あと半年で帰国予定です。毎日元気に生活できていることに感謝して、残りの任期を全うしようと思います。また、帰国後も何らかの形で国際協力に関わっていきたいと考えています。



江藤さんが勤める病院

青年海外協力隊は開発途上国で活動しています。その国が抱えるさまざまな課題に対し、ボランティア活動を展開し貢献しています。

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

自分の弱い心

阿蘇中学校 3年 津草 仁美

私は弱い心を持つている。私の言う弱い心とは、人に対する親切がでない心のことである。私は一度、学校に行きたくない時期があり、休みがちであった。しかし、クラスの人は、私ががんばって学校へ行くこと必ず、

「大丈夫？」
と聞いてくれたのだ。この一言で私はとても心が軽くなった。おかげで最近では学校に行けるようになってきた。私はあの時のみんなの声を忘れられない。

しかし、私はこの親切をクラスのみんなに返すことができていない。私は確かに、学校へ行くことに抵抗がある。しかし前ほどではない。だから、小さいことでもいい。親切なことを返したいと思っている。私はまだ自分のことで精一杯だ。だから、まずは周りを見ることから始めたいと思う。もともと、学校生活や普段の生活の中でたくさんの人といろいろな会話をし、相手が困っているときには相手の気持ちに気付いて行動することができている自分になりたい。

周りを見ることができたら、次は言葉だ。「おはよう。」「こんにちは。」「ごめんなさい。」「日本語には幸せが詰まった言葉がたくさんある。私が思う親切は、相手を幸せに

し、良い気持ちにさせることだと思っている。せっかく日本語を使っているのだから、一つ一つの言葉の意味をしっかりと考え、少しでも多くの幸せな言葉を使っていきたいと思う。私が休みがちだったあのとき、友達がかけてくれた思いやりのつまった言葉を、私も使っていきたい。

言葉の次は行動だ。私には、まだ出来ること、出来ないことと分かれてしまう。だから、今まで受けた親切の中で、自分が出来ることは何か。また、出来ないことはなぜ出来ないのかを考えた。まず、自分にできることは、相手を気づかうことだと思つ。自分が言われたように、

「大丈夫？」「それ、手伝うよ。」
と聞き、行動したいと思つ。相手を気づかうことで、さらに周りを見る事が出来るようになると思つ。大人数を気づかい、見ることは、まだ出来ない。しかし、少人数を気づかい、見ることは私でも出来ると思つ。普段の生活にも、自分の出来る親切がたくさんあると思つ。だから、いろいろな親切を見つけていきたいと思つている。私はまだ出来ない親切は、大人数を気づかうこと。相手が次何をしたのか、流れを読むことである。大人数では、まだ緊張してしまい、行動することが出来ない。それは、少しずつ慣れていけばいいと思つ。問題は、もう一つの

ことだ。相手が次にしたい行動が何か。私にはまだ分からない。これはただ単に周りを見るだけではダメなことだと思つ。相手がしたいことが分かるためには、相手の気持ちをしっかりと思いやること。その後、相手の気持ちを見るのが大切だ。しかしそれが出来ていないことが課題である。この課題をしっかりと考えていこうと思つ。私にとつて親切とは、幸せを届け、感謝を伝えることだと思つている。この思いを日常的に伝えていきたいと思つ。一つずつ課題を解決していくことで、自分の中にある弱い心を、少しずつ少しずつ強くしていくことが出来るのではないかと私は思つ。

《先生からのコメント》

仁美さんは、第一期の生徒会長に立候補し、新しい学校をなかまとともに創っています。そんな、仁美さんも学校が統合し、多くの希望と不安の中、揺れ動きました。その中で、クラスのなかま、家族の支えの中から自分自身について振り返り、自分を見つめていきました。仁美さんの言う「親切」でなかまや家族に幸せを届け、感謝を伝えていきますよ。

人権作文

平成24年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より ※学年は平成24年度時点。

懐かしの味 **ポン菓子** はじまます!

お米・砂糖をお持込...700円~
おこし風もできます...1000円~

こころの病気や生活上の悩みなど、ひとりで抱え込まずにお気軽にご相談ください。ご家族からのご相談も承っています。

阿蘇きぼうの家は「くまモンおやつプロジェクト」に参加しています。

安心・安全

お気軽に電話下さい -
障がい者支援センター
阿蘇きぼうの家
電話：0967-34-0580

阿蘇市西町 530 (元・黒川東部保育園)

広告



あべさんは本市在住で
絵や講演で活躍中。

「自然と共に遊び生活した子どもの頃の体験は宝物だ。心身を強くし、感性を豊かにする。
(阿蘇の大自然を守るためにも) 次代を担う若い人や子どもたちにもぜひ伝えたい!」と、
そう願って、あべさんが描かれた作品たちをお届けします。



夏休み

あべの
小さな生き物たち...
私たちの心を育んでくれた
小さな命たちに心から
伝えたい。
「ありがとう」って。

あべの
真黒に日焼けして
セミやトンボや
魚たちも追いかけて...♡

あべの
風呂焚きも
ニワトリの餌やりも
毎日やったけど、
ともかくにも夏休みは
遊びで明け暮れた。

チョウチョ

※庭先でよく見かけていた
あの大きききれいな
アゲハチョウは
どこへ
行ったんだろう?



トンボ

☆水辺もスイ〜スイ〜♪
てうかいオニヤンマ、この頃いるのかな?
ギヤンマ、シオカラトンボ
また会いたいよ〜



☆内牧のふれあい水辺公園
(松ヶ鼻遊水池)には
ほんと!? いろ〜んなトンボが
いっぱい飛んでて
びくります!!

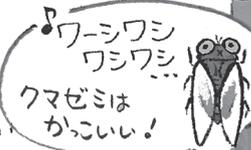
夕立ちの後の



夕焼けとヒグラシの
♪カ+カ+カ+カ+...
もう♡最高!



カブト虫の
強いこと!!



♪ワ〜シワシ
ワシワシ!
クマゼミは
か〜いい!

セミ

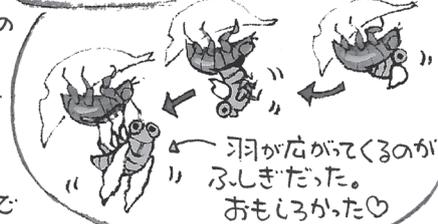


ミンミン
ミンミン
ゼミ
ゼミ
あ〜こ

ジ〜ジ
ジ〜ジ
強烈なのは
アブラゼミ



セミの羽化



「羽化もかんさうしたり
羽が広がってくるのが
ふしぎだった。
おもしろかった♡」

ひと泳ぎした
あとのアイスキャンデー!!
おいしかったこと!
(1本5円)



♡次の村へ急ぐ
アイスキャンデー
売りの
おじさん。

近くの川で みずあ 水浴び



毎日のように泳いでた♪

♪絵日記もつけたし、工作もやったし、夜は花火もしたし...ア!?! 勉強はいうやったっけ!?!

～守っていききたいわがまちの景観と人々～

きよらかな水の恵みと井手のある景観

南小国町は九州の最大河川筑後川の最源流域です。南小国町の原野や山林に降った雨が地下水となり、豊富な湧水が川となって、南小国町の田畑を潤しています。

南小国町で欠かせない水利システムが「井手」です。上流の河川から取水し、山並みや道路に沿って水路が美しい水を集落内の田んぼへと運びます。田畑への配水だけでなく、洗い場や炊事場、中には芋車を設置するなど様々な用途に用いられ、井手の仕組みを整えた先人の技術と労力によって南小国町の生業が支えられています。各集落では井手に水神様をお祀りし、地域の方々みんなで定期的に清掃するなど、今も生活の一部として大切に受け継がれています。



世界遺産こぼれ話 vol.3
世界文化遺産を構成する資産

7月10日に、世界文化遺産を目指す「阿蘇」の構成資産である「豊後街道」が国史跡に指定されました。

世界文化遺産の話題でよく耳にする「構成資産」。これは世界文化遺産を構成する資産のことで、その世界文化遺産の価値を証明する重要な役割を果たします。世界文化遺産は、国から史跡・重要文化財・天然記念物・名勝等に指定された、いくつかの構成資産で成り立ちます。

今回の指定は、今年3月に阿蘇市、南阿蘇村の「米塚」及び「草千里ヶ浜」が国名勝及び天然記念物に重複指定されたことも併せて、「阿蘇」の世界文化遺産への取り組みが実を結んだものです。

次回は、「豊後街道」の概要・指定地域などについて取り上げます。

次回のコラムは小国町が担当します

食改だより

食生活改善推進員協議会

お母さんのための食育

子育て支援センター栄養教室

一宮就業改善センターで5月16日、一宮子育て支援センターを利用するお母さん方と栄養教室を行いました。

参加したのは親子合わせて22名。その多くが、3歳未満のお子さんを含むご家庭でした。

そのため、お母さんが交代で子どもたちのお世話をしながらの調理となりました。今回作ったのは、ミ

ルクやチーズを使った太平燕、切り干し大根のサラダとミルクもち。子どもの身体の成長のために必要なたんぱく質と野菜がたっぷり摂れる献立です。

試食後は、食改推進員より幼児期から薄味の食事に慣れることの大切さや、バランスのとれた食事をする心を掛けてほしいという話をしました。

小さなおわんに入った太平燕を一生懸命に食べている子どもの姿は、とてもかわいらしく、また、お母さん方からは「家庭でも作ってみたい、メニューのレパートリーが増えて嬉しい」などの声が上がりました。





子育て支援センター情報

8月・9月

市では3カ所の子育て支援センターを開設しています。どのセンターも自由にご利用いただけます。

月	日	曜日	のんびり広場	すくすく広場	ぴよぴよ広場
			●場所 波野保育園内 ●開放日 月～金曜 ●時間 9:00～14:00 ●電話 24-2800 ※お知らせ端末同番号	●場所 一の宮子育て支援センター(りんどう保育園横) ●開放日 月～土曜 ●時間 8:00～17:00(国は12:00まで) ●電話 22-4539 ※お知らせ端末同番号	●場所 阿蘇市子育て支援センター(三久保) ●開放日 月～金曜(第2土曜開所) ●時間 9:00～17:00 ●電話 32-3843 ※お知らせ端末同番号
8月	13	火		プール遊び	
	14	水			プールで遊ぼう
	15	木		プール遊び	
	20	火		プール遊び(しゃぼん玉遊び)	
	21	水	簡単野菜クッキング(エプロン・三角巾持参)		誕生会・体験試食会
	22	木		誕生会・計測日(おやつ作り→エプロン・三角巾持参)	
	26	月			プラパンでキーホルダーを作ろう
	27	火		プール遊び(手作りおもちゃ作り)	
	28	水	散策(波野を知ろう→波野管内・動きやすい服装)		泥んこ遊び・水遊びをしよう
	30	金		わいわい子育て相談会(乳幼児健診医:江崎真澄先生による子育て相談会)	
9月	3	火		手形を押して遊ぼう	
	4	水	よーいドン(かけっこをしよう→水筒・帽子・タオル持参)		計測日・運動遊び おやつ試食会
	5	木		調理実習(9:30 一の宮保健センター集合) 要予約	リンゴ狩りに行こう「果実の国カップルズ」(10:30 現地集合→弁当・水筒持参)

各所では育児相談を随時受け付けています。電話相談も可能です。(一の宮子育て支援センターは ☎ 22-3850 まで)



子育て支援センターは市内3カ所で開催しています。催しがない日でも利用できますので親子の交流の場としてどうぞご利用ください。

「と話していただきました。」

子育て支援センターでは年間を通してさまざまなイベントが催されており、今回参加した母親も「母親同士で子育ての情報交換もできるし、子どもたちも楽しく過ごせる」と話していただきました。

交流会には時計台の利用者10人と、子育て支援センターに日頃から通っているという母子が参加し、七夕に合わせて七夕飾りづくりなどで交流を深めました。

一の宮子育て支援センターで7月4日、同センター利用者と地域生活支援センター「時計台」の利用者との交流会が行われました。

みんなで楽しく七夕飾りづくり！

子育て支援センターの話題

各種健診の日程

4カ月児健診

9月10日(日) 対象者 H25.4.16~5.15生まれ
受付：通知に記載 場所：一の宮保健センター

7～8カ月児健診

9月 3日(日) 対象者 H25.1月生まれ
受付：通知に記載 場所：一の宮保健センター

もうすぐ1歳児健診

9月10日(日) 対象者 H24.10月生まれ
受付：13:15~13:30 場所：一の宮保健センター

1歳6カ月児健診

8月27日(日) 対象者 H23.12月生まれ
受付：9:00~9:15 場所：一の宮保健センター

3歳児健診

8月20日(日) 対象者 H22.1月・2月生まれ
受付：13:00~13:15 場所：一の宮保健センター

休日在宅医

8月11日	小野主生医院	32-0039
8月18日	阿蘇温泉病院	32-0881
8月25日	市原胃腸科外科	34-1211
9月 1日	一の宮整形外科	22-3911
9月 8日	松見内科クリニック	22-0260

※阿蘇中央病院夜間診療：毎週金曜19時~21時。

各種相談の日程

心配ごと相談<無料>

8月15日(日)・9月5日(日)
9:30~12:00 阿蘇保健福祉センター
問い合わせ 阿蘇市社会福祉協議会(☎32-1127)

年金出張相談<(国民年金・厚生年金)予約制>

8月16日(土) 10:00~15:00 阿蘇市役所
9月 4日(日) 10:00~15:00 農村環境改善センター
予約先 熊本東年金事務所(☎096-367-2503)

こころの相談<予約制・無料>

8月13日(日) 13:30~16:00 阿蘇保健所
予約先 阿蘇保健所(☎32-0535)

消費生活相談<無料>

8月21日(日)・9月4日(日)
10:00~15:00 内牧支所
問い合わせ 阿蘇市消費生活センター(☎22-3364)

登記相談(売買・贈与・相続等)<無料>

8月15日(日) 10:30~15:00 阿蘇市役所
問い合わせ 熊本地方法務局(☎096-364-2145)

もの忘れ相談<随時受付・無料>

問い合わせ 地域包括支援センター(☎32-5122)
ほけん課(☎22-3145)

熊本県弁護士会法律相談<予約制・有料>

毎週金曜日※年末年始、祝祭日を除く
13:00~16:00 農村環境改善センター
予約先 熊本県弁護士会(☎096-325-0009)

熊本県司法書士会総合相談<予約制・有料>

毎週水曜日※年末年始、祝祭日を除く
17:00~20:00 農村環境改善センター
予約先 熊本県司法書士会(☎096-364-2890)

実施予防接種医療機関一覧

医療機関名	電話番号	ヒブ	小児用肺炎球菌	BCG	不活化ポリオ	三種混合	四種混合	麻しん風しん	日本脳炎	二種混合	子宮頸がん
古閑医院	☎22-3000							●	●		●
松見内科クリニック	☎22-0260	●	●	●	●	●	●	●	●		●
市原胃腸科外科	☎34-1211							●			●
脇胃腸科	☎32-2500							●			●
小野主生医院	☎32-0039	●	●					●	●		●
問端内科	☎32-0102							●			●
家入整形外科	☎32-0048							●			●
阿蘇温泉病院	☎32-0881							●	●		●
坂梨ハートクリニック	☎24-6262							●			●
たくもと小児科クリニック	☎34-2202	●	●	●	●	●	●	●	●		●
栗林内科医院	☎24-1024							●	●		●
阿蘇中央病院 小児科	☎34-0311	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
波野診療所	☎24-2203							●		●	●

※予防接種の対象者については、各予防接種に応じて個別通知や本誌紙面などで定期的にご案内します。

※予約制ですので、必ず事前に電話予約をしてください。また、受診の際は母子健康手帳と問診票をご持参ください。

【問い合わせ 一の宮保健センター ☎22-5088 お知らせ端末55-5088】



夏の旬、色がきれいなナスを使った 豚肉のナス巻き焼き

材 料 (4人分)

- 豚もも薄切り肉 300g ●塩 小さじ1/2
- こしょう 少々 ●ナス 3本 ●サラダ油 大さじ2
- | | |
|---|----------------|
| A | ●しょうゆ 大さじ1と1/3 |
| | ●みりん 大さじ1と1/3 |
| | ●おろしにんにく 1/2かけ |
- キャベツ 150g ●ミニトマト 2個

作り方

- ①ナスは縦4等分に切り、水につけてあくをとる。
- ②豚肉は1枚ずつ広げて塩こしょうをふる。ナスの水気をふいて肉の上のせ、ナスが隠れるように巻く。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、②の巻き終わりを下にして入れ焼く。
- ④合わせたAを加え絡めながら、汁気がなくなり、おいしそうな焦げ目と照りがつくまで焼く。
- ⑤キャベツを千切りにして器に敷き、④を盛ってトマトを添える。

Data

- エネルギー 231kcal ●たんぱく質 17.1g
- 脂質 13.9g ●カルシウム 34mg ●塩分 0.9g

豚肉には、体の中で糖をエネルギーに変える力を持つビタミンB1,B2が豊富に含まれています。「夏は豚肉」と言われるのはこのためです。また、健康な成人が健康な体を保つのに適した豚肉の1日の量は、50g(薄切り2枚程度)です。旬のナスとともに適量をとって、暑い夏を元気に過ごしましょう。

FRESH MAN

さわやか

フレッシュマン

永田 ^{りょう} 諒さん (21歳) 行政区：北黒川
湯巡追荘 勤務

- 〔趣味〕 音楽、マンガ
- 〔好きな言葉〕 人は人、自分は自分
- 〔好きな女性のタイプ〕 やさしい人
- 〔阿蘇の好きなところ〕 田園風景

Q. 仕事の内容

お客様に提供する料理の準備

Q. 仕事で、日頃から心がけていること

与えられた仕事を一つ一つこなすこと



FRESH MAN

